

R5 学校経営ビジョン

【教育目標】
よく学び 心豊かで たくましい子の育成

【教育方針】 **生き生き輝く学校**
生き生き輝く子ども+生き生き輝く教職員=生き生き輝く学校
～「あいさつ あいづち ありがとう」を～

【めざす児童像】
・よく学ぶ子 (知)
・心豊かな子 (徳)
・たくましい子 (体)

【めざす学校像】
・学習機会と学力を保障する学校
・全人的な発達・成長する場
・安全安心な居場所

【めざす教師像】
・心身ともに健康な教師
・子供に寄り添う教師
・広く豊かに学び続ける教師

カリキュラム・マネジメント

確かな学力の育成	豊かな心の涵養	健やかな体の育成
<ul style="list-style-type: none"> ○学力の定着と向上 <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ目的・意の価値づけ ・伝え合う場の設定 ・「書く」時間の保障 ○教職員の資質能力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・持ち味を生かした授業 ・自己有用感のある授業 ・多様に ICT を活用した授業 ○組織的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・課題意識のある授業研究 ・学力調査の活用 ・読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとを愛する心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統行事への参加 ・自然体験活用の推進 ・地域の教育力の積極的活用 ○道徳教育充実 <ul style="list-style-type: none"> ・体験的活動を生かした実践 ・発達段階に応じた道徳科の実践 ・教育活動全体の道徳教育の充実 ○非認知能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・相手を察する力の育成 ・社会性を育む活動の充実 ・いじめを許さない取組の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい生活習慣の定着 ・健全な食生活の実現 ・感染症対策に努めた生活 ○体力向上の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・一校一プランの有効活用 ・スポチャレいしかわの取組 ・スポーツ大会の活用 ○安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・防災活動への参画 ・防犯活動の充実 ・学校生活目標の取組

安全で安心した環境にいての個性の伸長

社会に開かれた教育課程

「家庭」「地域」「関連機関」との連携・協働

[家庭]	[地域]	[関連機関]
<ul style="list-style-type: none"> ・安心して過ごせる家庭生活 ・早寝・早起き・朝ご飯 ・ノーゲームデー (家庭学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に過ごせる地域連携 ・地域の人材・もの・こと活用 ・伝統文化の体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・防犯等関係機関の活用 ・保小中高特支一貫教育の活用 ・発達支援室との活用

今年度の学校経営重点目標と具体的取組

ふるさと学習（海洋教育と防災教育）の充実を図り、未来を拓く力に

（１） 確かな学力の育成

GIGA スクール構想の実現を通して

- ① 主体的に課題を解決する学習を通して、学ぶ楽しさを感じ、子の学ぶ意を醸成する
- ② 子を見取り、個別最適な学習を実践する
- ③ 協働的な学習を通して、深まりのある授業を実践する

日常的な学習を通して

- ① 根拠をもって自分の考えを伝える表現の機会をつくる
- ② 学力調査等を活用し、学力向上ロードマップを有効活用する
- ③ 読書活動や作文等書く機会を意図的につくる

（２） 豊かな心の涵養

- ① 体験活動を積極的に活用し、ふるさとの素晴らしさの理解を深める実践を行う
- ② 自我関与に努めた道徳科の授業を実践する
- ③ 感じたこと・考えたことを伝え合え、自己有用感を持つ集団活動を充実する
- ④ 一人一人の自己肯定感が高まるために、子の心に寄り添い家庭と連携・協働する

（３） 健やかな体の育成

- ① 規則正しい生活が過ごせるように支援を行う
- ② 喫緊課題として生活安全・防災安全・交通安全の安全教育を行う
- ③ 地産地消に根付いた食育を実践する
- ④ 県や市の取組を有効活用し、体力向上に努める

（４） 人材育成と組織力の向上

- ① 業務の効率化をより一層図り、ワークライフバランスを優先する
- ② 教職員一人一人の良さを認め合い、自己肯定感・自己有用感がもてる声かけに努める
- ③ 危機管理意識のもと、報告・連絡・相談しやすい環境づくりに努める
- ④ 研修履歴を活用し、課題意識をもって自己研鑽に励む

（５） 開かれた学校

- ① 保護者・地域と情報を共有するためにホームページ等を活用する
- ② 家庭との連携・協働を図り、子に寄り添う関係を築く
- ③ 学校評価や外部評価等を活用し、カリキュラム・マネジメントに生かしていく
- ④ 保小中高特支一貫教育を推進し、地域の子として成長を願う思いを共有する
- ⑤ 特別な支援を要する子供には、外部機関との連携を図り、適切な配慮を行う